

福島県立視覚支援学校・福島県立聴覚支援学校福島校

【発行所】

福島県立視覚支援学校・  
福島県立聴覚支援学校福島校後  
援会

〒960-8002 福島市森合町6番34号

TEL 024-534-2574

FAX 024-533-2470

E-mail fukushima-sb@fcs.ed.jp

# 後援会会報

第10号

## 「こどもの笑顔と未来へつながる ご支援に感謝して」



福島県立視覚支援学校・聴覚支援学校福島校 後援会長 西山 尚利

日頃より、本会の活動に深いご理解と温かいご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

今年度も会員皆様からいただいた力強いお励ましにより、視覚支援学校・聴覚支援学校福島校で学ぶ幼児・児童・生徒がのびのびと学習・体育活動に励み、生活全般にわたり充実した時間を過ごすことが出来ましたことに厚く御礼申し上げます。

さて、視覚支援学校では10月21日にしゃくなげ祭が「輝く未来へ飛び立とう！」をテーマに開催されました。理療科公開の案内と生徒のパフォーマンスから始まり、小学部、中学部、高等部が日頃の学習の成果や宿泊学習、修学旅行の思い出を発表しました。フィナーレの「よさこい踊り」では、高等部の迫力ある踊りに小、中学部、理療科も加わり、全校が一つになって幕を閉じました。聴覚支援学校福島校では、同日に福島第四小学校との合同学習発表会が行なわれ、昔話「かさこじぞう」を地蔵の気持ちを考えながら、心を合わせて演じていました。こうした児童生徒の姿に、目を見張る成長と未来への希望を強く感じ、嬉しく思いました。

これからも、子どもが学校や地域・社会で共に学び、共に生きる教育を推進するという理念のもと、明るく逞しく自立できるよう成長することを願いながら活動を続けてまいります。引き続き、総合的な特別支援教育を推進する学校教育の充実発展のため、後援会活動に対しましても一層のご支援・ご協力をお願い申しあげまして、ご挨拶といたします。

## 「元気いっぱい活動しています」



福島県立視覚支援学校校長・聴覚支援学校福島校分校長 須田 康仁

後援会会員の皆様には、日頃から、視覚支援学校及び聴覚支援学校福島校の教育活動へのご理解とご支援をいただき、誠にありがとうございます。今年度も、会員の皆様からいただきましたご支援を活用させていただき、幼児児童生徒が校内外の学習活動や行事において、生き生きとした活動を展開することができました。

聴覚支援学校福島校では、第四小学校との交流運動会や合同学習発表会に参加しました。運動会では視覚支援学校の児童と一緒にたくさんの種目に出場し、全力を尽くし活動していました。また、学習発表会では、劇「かさこじぞう」を披露してくれました。いつもとはちょっと違う要素を含めたことで、第四小の児童からも絶賛を博しました。幼稚部生も福島保育所との交流学习発表会など楽しい行事に積極的に参加しました。

一方視覚支援学校では、数多くのお客様をお迎えしそれぞれの学部で日頃の学習の成果を十分発表できた「しゃくなげ祭」や、小・中学部生による他校との交流及び共同学習、そして高等部生によるボランティア活動など充実した1年間を過ごすことができました。高等部生はさらに、全国レベルのスポーツや文化的活動にもチャレンジし、素晴らしい結果を出してくれました。

学校は、昨年4月より、視覚支援学校、聴覚支援学校福島校と名称が変更になりましたが、会員の皆様方の温かいご支援を承り、さらに歩みを進めていく所存です。今後ご理解とご協力をお願いいたしまして、今年度の活動報告と御礼のごあいさつといたします。



## 教育活動報告



会員の皆様よりいただいた会費は、視覚支援学校・聴覚支援学校福島校の教育活動の中で、有効に使わせていただいております。ここでは、多くの補助を受けて実施された教育活動の中から、学校行事での幼児、児童生徒の様子を紹介いたします。

### 小学部 「お楽しみ会」



12月に東京から「おもちゃ図書館」のボランティアの方たち3名をお招きして、お楽しみ会を行いました。演奏を聞くだけでなく、一緒に演奏したりみんなで歌ったりと、楽しいひと時を過ごしました。

この活動は今年度で5回目を数え、ボランティアの皆さんの顔ぶれもお馴染みとなりました。今回も音楽の教科書に出てくる曲やリクエスト曲、クリスマスソング他、たくさんの曲を準備してくださいました。また今回は、子どもたちが音楽の時間に取り組んだ曲と一緒に演奏していただきました。子どもたちは時間を見

つけて自主的に練習するなど大変意欲的でした。自分たちの演奏にボランティアの皆さんの演奏が加わると、一段とすてきな曲になり、貴重な経験となりました。

(小学部主事 庄子 紀子)

### 中学部 「体育行事」

中学部生徒会主催の「体育行事」を実施しました。中学部に転入学・新入学した2名が、全員が参加できて楽しめる内容を考え、「ボウリング」を実施種目として計画しました。

車椅子の生徒がボールを投げやすいようにスロープを用意したり、全盲の生徒がわかりやすいように音源を用意したりと、様々な工夫をこらしたボウリングレーンが完成しました。生徒が自主的に企画、準備、運営等に取り組めたことはとても大きな成果でした。

当日は生徒と教員の合同チームを組んだことで、先生方の意外な一面も見ることができ学部全体の交流も深まりました。結果は「全員入賞」という何とも平和的なエンディングでさらに和んだ雰囲気の中、体育行事を終えました。



(中学部主事 渡部 経子)

### 高等部普通科「平成29年度県北地区高等学校音楽祭への参加」

普通科の10名は、5月29日(月)に福島市音楽堂大ホールで開催された、福島県北地区高等学校音楽祭に参加しました。この音楽祭は「福島県高等学校音楽連盟県北支部に加盟する、合唱、吹奏楽、器楽・管弦楽及び日本音楽各部門に所属する学校による演奏発表」となっていますが、本校普通科生は平成24年度より、福島高等学校の音楽部との交流及び共同学習に取り組んでおり、今年も昨年度同様に参加の運びとなりました。放課後3回の福島高校での合同練習を経て、当日は福島高校生とともに楽しく音楽堂まで歩き、リハーサルを経て、大きなステージに立つことができました。演奏曲目は、男声合唱が「あの素晴らしい愛をもう一度」(ピアノ伴奏は、本校高等部2年遠藤未来さん)と混声合唱が「葡萄の樹」でした。とても貴重な経験ができました。



(高等部普通科 中野 美佐枝)

## 高等部理療科 「臨床体験発表会」



平成29年12月21日(木)に理療科の臨床体験発表会が開催されました。この発表会は、臨床実習における症例研究や実験調査研究等を行い、これまで学んだ知識や技術をもとに臨床力と臨床意識の向上を図ることを目的にしており、3年生にとっては2年間の臨床実習の締めくくりでもあります。

午前の部では、専攻科3年生の症例研究は例年になく多岐にわたり、卒後の臨床への意欲がうかがえるレベルの高い研究発表で、討議や意見交換が活発になさ

れ、理療科生徒の臨床への意識の高さを感じました。

午後は、白河市で開業されている福島県鍼灸師会会長・三瓶真一先生をお招きして、「不妊治療の理論と実際」をテーマに講演と実技研修を行いました。なかなか鍼灸の臨床現場について話を聞く機会がないため、今回は医療や不妊治療の分野での鍼灸治療の可能性を知る貴重なチャンスであり、例年になく充実した「臨床体験発表会」でした。



(高等部理療科長 小沢 薫)

## 聴覚支援学校福島校 幼稚部・小学部



11月1日(水)に、文化芸術による子供の育成事業「ムーラのコメディサーカス」を鑑賞しました。大道芸人のムーラさんは5年前にも本校に来ていただいたということで、知っている子どもたちは期待にあふれた表情で体育館に向かいました。全員で「ムーラさ〜ん!」と呼ぶと、ステージに現れたムーラさんへ大拍手。まるでエスカレーターに乗っているかのように壁の向こうを歩いたり、高い一輪車を自由自在に操りながらジャグリングをしたりするムーラさんの動きやくるくる変わる表情に、子どもたちの目は釘

付けになりました。前に出て、ムーラさんとの掛け合いを楽しみながらお手伝いをしたり、同じ芸をやったりするなど、とても楽しい時間を過ごすことができました。



(幼・小学部主事 今野 千寿)

## 平成29年度 福島県立視覚支援学校・福島県立聴覚支援学校福島校後援会役員名簿

役職名	氏名	所属等
顧問	丹野 功一	元福島県立盲学校長
顧問	望木 昌彦	前福島県立盲学校・福島県立聾学校福島分校 後援会会長
会長	西山 尚利	福島県議会議員
副会長	三宅 一秀	株式会社三宅新聞店代表取締役
副会長	佐々木 喜美子	父母と教師の会会長
評議員	仁志田 昇司	前伊達市長
評議員	片寄 直子	父母と教師の会副会長
評議員	須田 康仁	福島県立視覚支援学校長
監事	中村 雅彦	元福島県立盲学校長
監事	武藤 永治	元福島県立盲学校教頭



## 平成29年度 会費等の御協力をいただいた方々及び団体（敬称略）



今年度も、在籍している幼児児童生徒の保護者の皆様にご協力をいただきました。ここには、ご協力いただいた旧職員の皆様及び特別会員の皆様のみ記載させていただきますので、ご了承ください。

保原町工業団地懇話会  
守工業株式会社  
社会福祉法人あおぞら福祉会 菊の里  
有限会社大野建築設計事務所  
株式会社トヨネスト  
株式会社三宅新聞店  
福島テレビ株式会社

阿部 教夫  
安藤 俊典  
五十嵐 登美  
五十嵐 好恵  
石川 浩  
伊藤 信也  
海野 薫  
江口 和子  
江崎 尚  
小野 祥一郎  
小野 誠子

小野 貴則  
鹿目 敦子  
菅野 典子  
菅家 勝  
櫛田 省吾  
栗村 美智子  
斎藤 和也  
齋藤 年久  
齋藤 浩之  
佐藤 健一  
佐藤 知子  
佐藤 浩士  
佐藤 正雄  
嶋原 弥  
鈴木 美恵子  
平 祥江  
高橋 英之  
竹中 洋子  
丹野 功一

中村 雅彦  
中村 里永子  
七宮 弘暁  
西山 尚利  
西間木 薫  
二瓶 恵美子  
二瓶 睦  
原 江理歌  
古川 洋子  
星 富美子  
本田 富治  
武藤 永治  
村上 卓  
望木 昌彦  
八巻 静子  
八巻 宏子  
山岸 芳和  
湯浅 さつき

会津若松市  
石川郡浅川町  
いわき市  
岩瀬郡天栄村  
河沼郡会津坂下町  
白河市  
須賀川市  
相馬市  
相馬郡飯館村  
西白河郡西郷村  
二本松市  
東白川郡鮫川村  
福島市  
南相馬市

## トピックス

今年度より全国大会として実施された第1回全国盲学校フロアバレーボール埼玉大会に東北地区代表として視覚支援学校が出場し、第4位の成績を収めました。本後援会として3万円の助成金を予備費より支出しました。



## 編集後記

日頃より本後援会活動にご理解と多くのご支援をいただき、感謝いたしております。

さて、本会報では、皆様のご支援により行われました教育活動の一部を紹介いたしました。

紙面を通して、一生懸命に学習活動に取り組む幼児児童生徒の様子と後援会の事業内容についてご理解いただければ幸いです。合わせて次年度、視覚支援学校は創立120周年を迎えます。

これからも教育活動及び本会活動充実に向けて努力してまいりますので、よろしく願いいたします。